

(最終更新日：2025 年 6 月 9 日)

「情報公開文書」

医学部 HP 掲載用

受付番号：2025-1-243

課題名：麻酔科シミュレーション学生実習のスコアリング化に関する後ろ向き
研究と教育効果に関するアンケート調査

1. 研究の対象

2019 年度から 2028 年度まで麻酔科臨床修練を行う医学部 4・6 年生

* 2020 年度からは患者さんの同意が得られた手術動画を使用してシミュレーション実習を行っています。

2. 研究期間

2019 年 6 月（倫理委員会承認後）～2028 年 3 月

3. 研究目的

本研究では、麻酔科実習のシミュレーション実習をスコアリングすることで、学生の学習到達度の評価を行います。また、実習に対する学生の満足度調査を行い、指導教官へフィードバックします。スコアリングとアンケートは集計し、学術集会への発表や論文化することで、より質の高いシミュレーション教育の確立へつなげます。

4. 研究方法

シミュレーションはマネキンを用いて全身麻酔管理を行う実習です。実際の手術動画を使用しています。手術動画は事前に患者さんから同意を得たものを編集しています。手術動画から患者さん個人が特定されることはありません。スコアリングとアンケート調査は google formを用いて集計します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：シミュレーション実習スコア、アンケート調査、手術動画。いずれも匿名化されています。

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

東北大学病院 麻酔科 大西 詠子

8. 研究資金と利益相反（企業等との利害関係）について

研究資金と利益相反（企業等との利害関係）について本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は運営費交付金及び科学研究費を用いて実施しています。

本研究は、医療学習用の麻酔シミュレーションゲームの教育的有用性を検討することを含んでいます。当該ゲームは、研究責任者である大西詠子講師が開発したゲームであり、大西詠子講師が未公開株を保有し、取締役を務める株式会社 CERCIT で将来的に販売する可能性があります。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

研究責任者

〒980-8574

仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7321

FAX 022-717-7325

東北大学病院麻酔科

大西 詠子

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合